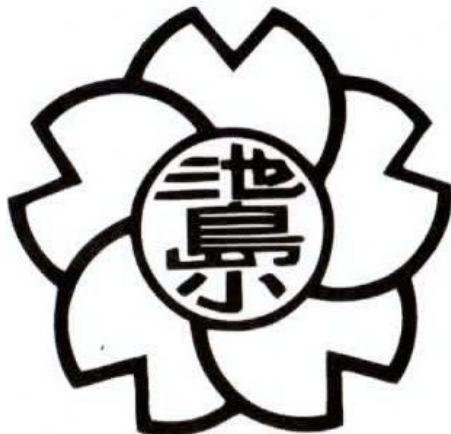


令和 7 年度

# 運営に関する計画



大阪市立池島小学校

(様式 1)

大阪市立池島小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

本校地域は 2 か所の児童養護施設と付随する 2 か所の小規模施設を有し、虐待を含む様々な社会的養護を必要とする子どもが約 36% 在籍している。その多くの子どもは愛着障がい（AD）の傾向をしめしており、重複して ASD（自閉スペクトラム症）や LD（学力不振）等の発達症をあわせ持っている。本来形成されるべき特定の人との愛着がうまく形成されず、感情の未発達・未学習を引き起こし、絆の問題を抱えることとなった子どもに対し、入学後に愛着形成を行う必要がある。これは施設の子どもに限られた問題ではなく、一般家庭でも見られる状態である。さらに、特別支援学級在籍割合は 38% であり、個々の子どもに対する手厚い支援が必要である。こうした状況の子どもの自尊感情を高め、自己と共に他者を大切にする心すなわち自己有用感を育てることは、本校にとって喫緊の課題である。

本校の地域は、児童養護施設の子どもに対する理解は深く、地域の子どもとして大切に育てている。施設側も地域と共に子どもを育てるという立場で子どもの育てに関わっている。

第 1 期、第 2 期大阪市教育振興基本計画のもと本校では、多くの成果をあげてきた。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】においては下記である。

- いじめの解消率 100% を維持。
- 「学校は仲間がいて、いじめをゆるさない安心できる場所だと思う。」に対する肯定的な回答の割合は、80% を上回った。
- 「学校のきまり・規則を守っていますか」に対する肯定的な回答の割合は、90% を上回った。
- 自尊感情や自己有用感に関しては、「自分には 1 つ以上よいところがある。」に対する肯定的な回答の割合は 80% を上回った。「誰かの役に立つ人間になりたい（高学年）」と回答する児童の割合は、90% を上回った。
- 不登校の子どもが毎年 1 名以上出ており、登校できるようになってはいない。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】においては下記である。

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較した時、3, 4, 6 年生は向上しているが、3 年連続で 5 年生が低下傾向にある。（令和 3 年度 3 年生 91.7 4 年生 99.0 5 年生 96.5 6 年生 97.0）
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対する肯定的な割合は前年度より増加し、79.6%
- 「すすんで漢字学習に取り組んだ」に対する肯定的な割合は 85%、漢字検定合格率は 75.3%
- 令和 3 年度全国学力・学習状況調査では、国語、算数ともに平均正答率は大阪市を 6～7 ポイント下回っている。
- 令和 3 年度全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果、体力合計点は、男子は大阪市平均を上回り、全国平均はやや下回った。女子は大阪市平均とほぼ等しく、全国平均を下回る結果となつた。

こうした現状と成果を踏まえ、新たな教育の方向性を導くために、第3期大阪市教育振興基本計画の3つの最重要項目から今後4年間取り組む課題を整理する。

### 安心安全な教育の推進

- 子どもと教員との愛着形成を図る。

本校の子どもにとって教員との愛着の形成は不可欠である。特に、学級担任、支援学級担当との愛着の形成を図り、感情の学習や他者との関係性づくりを進める。

- 自尊感情の向上を保障する。

学校のきまりを守る、自分の可能性に気づく、仲間と共に活躍する場を得る、自己の成長を感じる、他者から必要とされる、成功体験を繰り返す等の自尊感情を高める学校生活を保障する。

- 自他の命を守る力を育成する。

子どもの道徳性、社会性の育成に努め、自他の命を尊重し安全で安心な社会づくりに参加するための資質・能力を育てる。

### 未来を切り拓く学力・体力の向上

- 学習の基盤となる資質・能力を育成する。

すべての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である語彙を豊かにする。(読書、漢字)

- 授業の質的転換を図り授業力を向上する。

個別最適な学び（「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念）の一層の充実を図る。そのため、主体的・対話的で深い学びを実現する。同時に、探求的な学習や体験活動等を通じ、協働的な学びを実現する。

- 外国語活動、外国語科の授業の充実を図る。

C-NET、外部講師と外国語担当教員、担任との連携の強化を進める。「小学校低学年からの英語教育の時間」の確実な実践を積み重ねる。

- 自己の体力に関する理解を進め、主体的に運動する習慣を付ける。

体育科授業の実践記録の積み重ね、運動環境の充実、全校体力作りへの取組を行う。

### 学びを支える学習環境の充実

- 学習者用端末を使用した学習の日常化を図る。

協働学習支援ツールや学習用デジタルドリルの活用を一層充実させる。また、プログラミング学習年間指導計画に則った実践を積み重ねる。自己の体力に関する理解を進め、主体的に運動する習慣を付ける

- 「学校園における働き方改革推進プラン」に基づいた働きやすい職場環境を整える。

- 長時間勤務の解消、年次有給休暇の取得率の向上を図る。

- 読書環境を整え、読書活動を推進することによって、本好きな子どもを育てる。

前述の課題を受けて、令和7年度末までに達成する中期目標を下記の通りとする。

#### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
73.5	中止	73.9	67	75.8	82.4	

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
0.71	1.60	1.80	0.99	0	0	

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度(60.9%)より20%増加させる。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
70.6	中止	60.9	86.9	76.4	94.7	

○令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
77.3	94.1	90.9	85.9	90.5	93.1	

○令和7年度の校内調査の「災害や防災について、自分にも起こりうる事と考えて行動できた」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
斜線	斜線	斜線	90	100	94	

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
34.4	36.7	42.6	27.2	40.4	36.6	

○令和7年度の小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上し1.00以上にする。

	国語				算数			
	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R3	R4
現6年生	0.85	0.86	0.89	0.90	0.95	0.92	0.77	0.73
現5年生		0.95	0.88	0.93		0.96	0.90	0.89
現4年生			0.77	0.81			0.73	0.68
現3年生				0.72				0.74

○令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
67.9	91.3	86.9	87.5	72.8	73.6	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
63.0	64.2	67.8	68.4	62.3	52.5	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
79.7	中止	79.5	67.9	71.7	68.6	

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和7年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を70%、80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	66.7	89.5	
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	75.0	89.5	

### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の校内調査の、「授業の中で学習者用端末を活用して学習している」の項目（協働学習支援ツール、デジタルドリルを含む）について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。

R4	R5	R6	R7
93	81	96	

○令和7年度の校内調査の、「学習者用端末を活用して発表することができますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

R4	R5	R6	R7
86	77	95	

○令和7年度の校内調査の、「プログラミング学習は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

R4	R5	R6	R7
75	81	82	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。

R4	R5	R6	R7
72.1	68.1	76.1	

○令和7年度の保護者アンケートの「お子様との会話や学校からの手紙、連絡等で学校でのお子様の様子がよくわかりますか」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合を、90%以上にする。

R4	R5	R6	R7
95	94	90	

○ゆとりの日を毎週1回以上設定する。

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を 100%にする。

（基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2～6か月の平均が80時間を超える月数0）

## 2 中期目標の達成に向けた令和7年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査及び年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合をいずれも80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経年	79.4	82.8	73.7	72.0	73.7	78.8	
校内	77.3	85.7	85.5	86.0	89.0	91.0	

○年度末の校内調査において「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均どれくらいの時間 SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して 3 時間以上と回答する児童の割合を20%以下にする。

※参考 全国学力学習状況調査結果 池島 31.6% 全国 20.7%

R7

○令和7年度の小学校学力経年調査の「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしますか（インターネットを使わないゲーム）。」に対して 3 時間以上と回答する児童の割合を30%以下にする

参考 令和6年度 3時間以上と回答 47.3%

R7

○令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
70.6	中止	60.9	86.9	76.4	79.9	

○年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
53	64	58	58	57	60	

○令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
77.3	94.1	90.9	85.9	90.5	93.1	

## 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

### 学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」に対して最も肯定的な回答をする児童の割合を 40%以上にする。

R6	R7
36.6	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

R6	R7
73.6	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

R6	R7
52.5	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

R6	R7
68.6	

○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（令和7年度の全国学力・学習状況調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を 70%、80%以上にする。

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	66.7	89.5	
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	75.0	89.5	

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査の「大型提示装置（大型テレビやプロジェクタなど）で、注目してほしいところを指などで示したり、マーキングしたりして、発表することができますか。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を65%以上にする。

R6	R7
57.2	

○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
82	72	76	72.1	68.1	76.1	

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。  
〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

R6	R7
90.6	

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。

（基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2～6か月の平均が80時間を超える月数）

項目	R5	R6	R7
基準1※3	78.26%	90.48%	
基準2※3	100.00%	100.00%	

### 3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立池島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

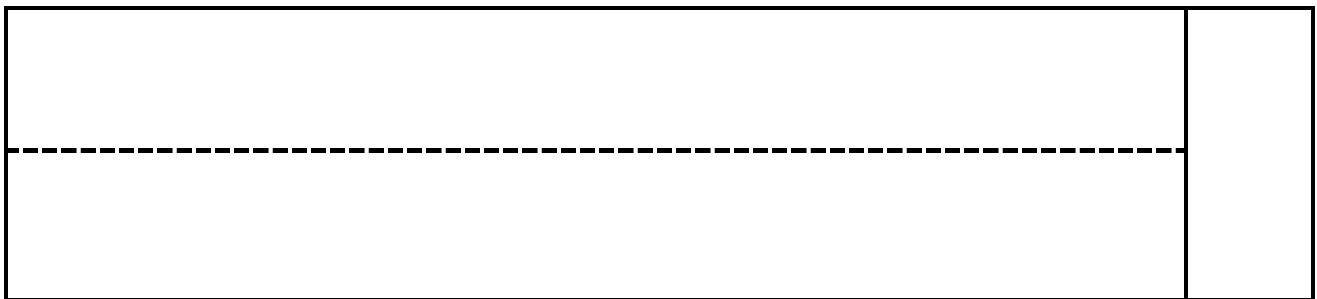
評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標							達成状況
<b>【安全・安心な教育の推進】</b>							
学校園の年度目標							
【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】							
経年	79.4	82.8	73.7	72.0	73.7	78.8	
校内	77.3	85.7	85.5	86.0	89.0	91.0	
○令和7年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。							
※参考 全国学力学習状況調査結果 池島 31.6% 全国 20.7%							
○年度末の校内調査において「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均どれくらいの時間SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して3時間以上と回答する児童の割合を20%以下にする。							
参考 令和6年度 3時間以上と回答 47.3%							
<b>【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b>							
○令和7年度の小学校学力経年調査の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。							
RI	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
77.3	94.1	90.9	85.9	90.5	93.1		
○令和7年度の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。							
RI	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
70.6	中止	60.9	86.9	76.4	80.6		

- 年度末の校内調査において、「学校や学級のきまり（約束）を守っていますか。」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を60%以上にする。

R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
53	64	58	58	57	60	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】</b> ○画面を長時間見続けることによる心身への悪影響についての出前授業または講習会、保健指導を行う。 ○全校朝会の際に、画面視聴時間が長くなり過ぎないよう啓発をする。 ○毎月の生活目標の中に、画面視聴時間を減らす目標を入れる。 ○特別な教科道徳に関連させ、スマートフォンの適切な使用法について指導する。	
<b>指標</b>	
○年度末の校内調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均どれくらいの時間SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を20%以下にする。 ○学力経年調査における「ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたりしますか（インターネットを使わないゲーム）。」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を30%以下にする。	
<b>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</b> ○児童が他学年との仲間づくりを進めるために、児童会が中心となってたてわり班を生かす集会やいっこまつりを行う。 ○児童が困っている人や助けを必要としている人の存在に気付き、自分たちにできることを考えられるようにするために、人権学習や特別の教科道徳で扱う福祉の学習を行う。 ○学年に応じて各学級で友達のいいところや感謝の気持ちを伝えあうなど、互いを認め合う取り組みを行う。	
<b>指標</b>	
○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。 ○学力経年調査における「人の役に立つ人になりたいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。 ○学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。	



年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

改善点

(様式2)

大阪市立池島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況				
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b>					
<b>学校園の年度目標</b>					
【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】					
○令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。					
<table border="1"><tr><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>73.6</td><td></td></tr></table>	R6	R7	73.6		
R6	R7				
73.6					
○令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」に対して最も肯定的な回答をする児童の割合を40%以上にする。					
<table border="1"><tr><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>36.6</td><td></td></tr></table>	R6	R7	36.6		
R6	R7				
36.6					
○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。					
<table border="1"><tr><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>52.5</td><td></td></tr></table>	R6	R7	52.5		
R6	R7				
52.5					
<b>【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b>					
○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。					
<table border="1"><tr><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>68.6</td><td></td></tr></table>	R6	R7	68.6		
R6	R7				
68.6					
○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（校内における実態調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を75%、75%以上にする。					

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
寝ている	67.6	中止	60.9	65.2	66.7	89.5		
起きている	85.3	中止	78.3	82.6	75.0	89.5		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>○理科の学習において、体験的な活動や出前授業の機会を多く設け、児童が楽しんで学習できるようにする。</p> <p>○児童間の交流を通して学習が深まるように授業展開を工夫する。</p> <p>○学年に応じた話し合いの話型や意見交流のポイントを揭示し、意見交流の指導に取り組む。</p> <p>○外国語の学習において、歌やゲームなどの活動を多く取り入れ、児童が楽しんで学習できるようにする。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。」に対して最も肯定的な回答をする児童の割合を40%以上にする。</p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>○体育授業を充実させるために、実技研修会を実施する。</p> <p>○「なわとび月間」や「かけ足月間」を設定し、全校児童が運動に取り組む機会を設ける。</p> <p>○児童が基本的な生活習慣を身につけられるよう、教職員や委員会児童による啓発・面談を行う。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>○規則正しい生活を身に付けている児童の割合（校内における実態調査の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合）を75%、75%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
改善点	



## 大阪市立池島小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成状況																																				
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b>																																						
<b>学校園の年度目標</b>																																						
<p><b>【基本的な方向6 教育DXの推進】</b></p> <p>○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の51%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td><td>R7</td><td></td></tr> <tr> <td>90.6</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査の「大型提示装置（大型テレビやプロジェクタなど）で、注目してほしいところを指などで示したり、マーキングしたりして、発表することができますか。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を65%以上にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R6</td><td>R7</td><td></td></tr> <tr> <td>57.2</td><td></td><td></td></tr> </table> <p><b>【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を100%にする。</p> <p>(基準2とは、時間外勤務が年間720時間以下、月45時間を超える月数6月以下、月100時間を超える月数0、前2～6か月の平均が80時間を超える月数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準1※3</td><td>78.26%</td><td>90.48%</td><td></td></tr> <tr> <td>基準2※3</td><td>100.00%</td><td>100.00%</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p><b>【基本的な方向8 生涯学習の支援】</b></p> <p>○令和7年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、<u>肯定的に回答する児童の割合を80%以上</u>にする。</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr> <tr> <td>82</td><td>72</td><td>76</td><td>72.1</td><td>68.1</td><td>76.1</td><td></td></tr> </table>	R6	R7		90.6			R6	R7		57.2			項目	R5	R6	R7	基準1※3	78.26%	90.48%		基準2※3	100.00%	100.00%		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	82	72	76	72.1	68.1	76.1	
R6	R7																																					
90.6																																						
R6	R7																																					
57.2																																						
項目	R5	R6	R7																																			
基準1※3	78.26%	90.48%																																				
基準2※3	100.00%	100.00%																																				
R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7																																
82	72	76	72.1	68.1	76.1																																	

  |  |

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】</p> <p>○学習者用端末を活用して、年に1つ以上大事な部分を目立たせたスライドやカードを作成する。注目してほしいところを指等で指示して発表する。</p> <p>○「心の天気」の入力を忘れずするよう、登校後の朝の準備に取り入れる。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>○年度末の校内調査における「授業の中で学習者用端末を活用して学習している。」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「学習者用端末で作ったスライドなどを発表するとき、注目してほしいところを指などで示したり、目立たせたり（マーキング）して発表することができますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査の「大型提示装置（大型テレビやプロジェクタなど）で、注目してほしいところを指などで示したり、マーキングしたりして、発表することができますか。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を65%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>○ゆとりの日を毎週1回設定する。ゆとりの日は、17:00に閉庁し、その旨を4月に手紙でも保護者に周知する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>○年度末の校内調査における「ゆとりの日は、各々の退勤時刻には仕事を終えることができるように努めましたか。」の項目で、肯定的に回答する教職員の割合を80%以上にする。</p> <p>○勤務時間の管理をし、勤務時間の長い教職員の仕事軽減につながるよう、他の教職員と協力して校務を行う。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 8 生涯学習の支援】</p> <p>○毎週火曜日に朝の読書タイムを実施する。様々な本に触れるができるよう、1か月に1度程度学級文庫の入れ替えを行う。また、図書館の貸し出しを利用して読書環境を整える。</p> <p>○図書委員会による読み聞かせやおすすめの本の紹介、学校図書館司書による毎週1回の図書館開放を実施する。また、学級でも毎週1回図書室を利用したり、学級貸し出しを利用したりして本に触れる機会を多く持つができるようにする。</p> <p>○図書の時間に図書館司書による読み聞かせを低学年向けに実施する。</p>	
<p><b>指標</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「あなたは本を読むことが好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>改善点</p>	